



東京文化会館版

全1幕4場 / 日本語上演
日本語字幕付

Opera in 1 act, 4 scenes
Sung in Japanese with
Japanese surtitles

2025 年

9月15日(月・祝)

15:00開演(14:15開場)

Mon, Sep 15, 2025 15:00 (Open 14:15)

たましんRISURUホール

(立川市市民会館)大ホール

Tamashin RISURU Hall (Tachikawa Civic Hall), Large Hall

台本・作曲・指揮: 松井和彦

Libretto, Music, and Conductor: MATSUI Kazuhiko

演出: 久恒秀典

Direction: HISATSUNE Hidenori

指定 3,850円

25歳以下 1,100円

一般発売 ▶ 5月17日(土)

東京文化会館メンバーズWEB先行発売 /
ムーサ友の会先行発売 ▶ 5月11日(日)

〈チケットのお申込み〉

- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp
- たましんRISURUホール 042-526-1311
tachikawa-chiikibunka.or.jp
- ※各発売初日は電話・オンライン予約のみ10:00開始(窓口販売はありません)。
- イープラス eplus.jp/t-bunka/

主催: 東京都 / 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) /
公益財団法人立川市地域文化振興財団
後援: 立川市教育委員会
協力: 国立音楽大学
企画制作: 東京文化会館 事業係 X @tbunka_official



赤おに
宮里直樹(テノール)
*第10回声楽部門
第2位[最高位]及び聴衆賞
Red Ogre:
MIYASATO Naoki (Ten)
©FUKAYA Yoshinobu / auraY2



青おに
黒田祐貴(バリトン)
*第20回声楽部門第3位
Blue Ogre:
KURODA Yuki (Br)



木こり
寺田功治(バリトン)
*第6回声楽部門第2位
Woodcutter:
TERADA Koji (Br)
©FUKAYA Yoshinobu / auraY2



その娘
盛田麻央(ソプラノ)
*第12回声楽部門第2位
Daughter of woodcutter:
MORITA Mao (Sop)
©FUKAYA Yoshinobu / auraY2



百姓
岸野裕貴(テノール)
Peasant:
KISHINO Yuki (Ten)
©タクミジユン



その女房
八木寿子(メゾソプラノ)
*第9回声楽部門第1位
Peasant wife:
YAGI Hisako (Mez)
©タクミジユン



ナレーター
小川葉奈(ソプラノ)
*第22回声楽部門
第1位及び聴衆賞
Narrator:
OGAWA Kanna (Sop)



ナビゲーター(フットーク)
朝岡 聡
MC(Pre-talk):
ASAOKA Satoshi

児童合唱&合奏: コロスたまっこ(ワークショップ参加者)
Children's Choir & Instrumental Ensemble: Coros Tamakko

ピアノ: 服部容子
Piano: HATTORI Yoko

ヴァイオリン: 岸本萌乃加 *第9回弦楽部門第1位
Violin: KISHIMOTO Honoka

クラリネット: 草野裕輝
Clarinet: KUSANO Yuki

打楽器: 西村 和・小松 幹・近藤寛斗
Percussion: NISHIMURA Nagomu, KOMATSU Miki, KONDO Hiroto

*東京音楽コンクール入賞者

※25歳以下席をご購入の方は、公演当日に年齢が確認できるものをお持ちください。確認する場合がございます。
※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※託児サービス(要予約・有料・定員あり・9月8日(月)17時締切)があります。イベント託児・マザーズ: 0120-788-222

ネクスト・クリエイション・プログラムとは

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が実施する子供向け芸術文化体験プログラムです。子供たちがより深く、より高いレベルで学ぶことができるよう、自らが興味関心を持つクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けることができます。子供たちの芸術文化への夢や個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指しています。

公演詳細はこちら



オペラ 泣いた赤おに

東京文化会館版
(全1幕4場/日本語上演)
日本語字幕付

東京文化会館のイチオシ公演、昨年に続き立川で上演！ 児童文学の傑作「泣いた赤おに」を歌にのせて。

東京文化会館では、2004年よりオペラを気軽に楽しめるシリーズ「オペラBOX」を開催しています。東京音楽コンクール入賞の若手と日本を代表するベテランが揃う豪華な歌手陣、人気実力を兼ね備える演出家やスタッフ、そして公募で集まった子供たちによる児童合唱・演技が好評を得ています。昨年に引き続き、東京都による「ネクスト・クリエイション・プログラム」の一環として、立川公演を開催。多摩地域の子供たちが、児童合唱、工作（舞台美術を製作）、お仕事体験や広報PRを担当し、プロのアーティストと共に本格的なオペラに挑戦します！

歌手では、赤おに役に「ハマリ役」の呼声高い宮里直樹、青おに役には活躍目覚ましいバリトンの黒田祐貴、そのほか歴代の東京音楽コンクール入賞者をはじめ、実力派の歌手が出演。涙なくしては観られない、プロと子供たちが一緒になって作り出す「泣いた赤おに」にご期待ください。

オペラ「泣いた赤おに」あらすじ

とある山の中に、ひとりの赤おにが住んでいた。赤おには「人間と仲良くなりたい」とずっと願っていたが、鬼を怖がる人間は誰も彼の家には寄りつかなかった。ひとり悲しみに暮れている赤おにの話を聞いた友達の青おには、自分が悪役を買って出て、赤おにが人間たちに好かれる策を思いつく。作戦は大成功し、赤おには人間の友達と楽しく、充実した日々を送っていた。だが、赤おにには一つ気になることがあった。それは、親友である青おにがあれから一度も遊びに来ないこと。いてもたってもいられなくなって、青おにの家を訪ねると、そこにはもう青おにの姿はなかった。

Synopsis

"The Red Ogre in Tears" is a popular Japanese folktale. Once upon a time, there was a Red Ogre who lived on a mountain. The Red Ogre had longed for becoming friends with humans, but humans were always afraid of ogres and never visited his house. The lone Red Ogre was deeply saddened. One day, the Blue Ogre, a friend of the Red Ogre, heard the Red Ogre's wish and came up with one idea. The Blue Ogre pretended to be evil to humans, which, as a result, humans became to like the friendly Red Ogre. The plan was successful, and the Red Ogre ended up spending a happy life with his human friends. The Red Ogre, however, became worried that the Blue Ogre had never visited him since then. He couldn't wait any longer and went to the Blue Ogre's house one day, but he wasn't there anymore.

台本・作曲・指揮 Libretto, Music, and Conductor
松井和彦 MATSUI Kazuhiko



東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業し、二期会専属音楽スタッフとなる。バイエルン国立歌劇場でオペラ作法を学ぶ。オペラ『泣いた赤おに』では「第一作とは信じられない見事な手腕」と評され、ジローオペラ新人賞を受賞。ほかに『インソップオペラ三部作』や『笠地蔵』、『花咲か爺さん』、『落語オペラ『目黒のさんま』、『宿屋の仇討ち』、『井戸の茶碗』、『お神酒徳利』等を作曲。作品は文化庁、東京文化会館、日生劇場、よこすか芸術劇場、びわ湖ホール、アクロス福岡等の主催により1000回近く上演されている。

東京藝術大学助教授をはじめ、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学等で、オペラ歌手の指導にあたった。

演出 Direction
久恒秀典 HISATSUNE Hidenori

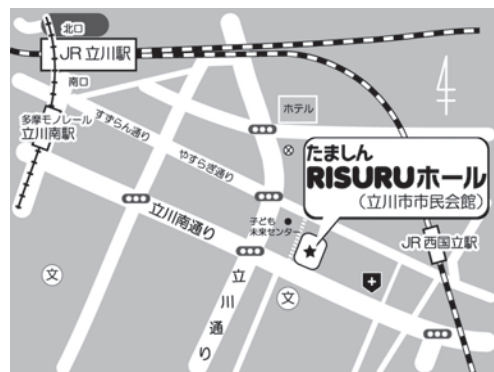


国際基督教大学卒、東宝演劇部専属契約の後イタリア政府奨学生としてボローニャ大学、ヴェネツィア大学、マルチェッロ音楽院、州立ゴールドーニ劇場演劇学校に学ぶ。文化庁芸術家在外研修員。

絨毯座『偽のアルレッキーノ』（佐治敬三賞受賞）にてオペラ演出デビュー。最近の作品として東京文化会館『シミグダリ氏ーまたは麦粉の殿』、東京室内歌劇場『陰陽師』、東京藝術大学『フィガロの結婚』、調布市民オペラ『トゥーランドット』、新国立劇場オペラ研修所『悩める劇場支配人』、『領事』、京都市立芸術大学『ドン・ジョヴァンニ』がある。現在、東京藝術大学、東京音楽大学、京都市立芸術大学、二期会オペラ研修所、新国立劇場オペラ研修所講師。

美術：黒沢みち(東宝舞台)
照明：稲葉直人(アート・ステージライティング・グループ)
衣裳：増田恵美(モマワークショップ)
舞台監督：穂積千寿(ザ・スタッフ)
児童合唱指導：田中美佳
児童合奏指導：松田義生

演出助手・振付：伊奈山明子
衣裳スタッフ：モマワークショップ
ヘア&メイク：丸善
照明操作：アート・ステージライティング・グループ



たましんRISURUホール (立川市市民会館)大ホール

【会場までのアクセス】
[JR中央線・南武線・青梅線]立川駅下車 南口徒歩13分
[多摩モノレール]立川南駅下車 徒歩12分
[JR南武線]西国立駅下車 徒歩7分
[立川バス]立川南口発 国立駅行「たましんRISURUホール」下車 徒歩0分
※24時間対応・有料駐車場があります(ご利用者は最初の1時間無料)
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



合唱や合奏、工作で本公演に参加する子供向けワークショップを開催！
広報体験や、公演当日にはお仕事体験なども実施。
みんなでつくりあげる「チームアップ!オペラ」をお楽しみに！
詳しくはウェブサイト等でご案内します。

